

学校だより



北友

4月号

富士宮市立北山中学校

令和2年4月8日(水)

1年50名 2年55名 3年45名

全校生徒数 150名

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学び、自ら考える生徒 ～自信と誇りをもてる北山中生～

失敗を恐れず挑戦する3年間にしよう！

校長 佐野 和雄

満開の桜の中、50名の新入生と7名の新任教職員を迎え、全校生徒150名で令和2年度が始まりました。ほぼ一ヶ月ぶりの登校となり、6日の校舎内には、お互いの無事や友人との再会を心から喜ぶ声がかみましました。入学式では、以下のように話をしました。

新入生の皆さん 入学おめでとうございませう。コロナウイルスの猛威にさらされている中ですが、担任の先生の呼名に、背筋を伸ばし、気持ちのこもった返事のできる50名の新入生を迎えられたこと、また、その返事から、北山中学校で頑張るぞという強い気持ちを感じられたことをとてもうれしく思います。保護者の皆様におかれましても、お喜びは一塩のこととお祝い申し上げます。

さて、皆さんの入学に当たり、職員を代表して一言お祝いの言葉を贈ります。それは、「失敗を恐れず挑戦する3年間にしよう」です。

これからのみなさんの生きる時代は様々な技術が開発され、今と全く異なる社会になると言われています。たった一種類のウイルスが、わずか数ヶ月で、世界中の人々の生活を大きく変えていることから明らかです。変化のスピードは速く、激しさは増していきます。そうした社会を生きる皆さんには、その変化から生まれる様々な困難に対し、知恵を出し合い、文化、言語、宗教が異なる人たちとも協働し、より良い答えを作り出すことが求められています。

この北山中学校での3年間で、その困難に立ち向かう力の基礎を身に付けてほしいと考えています。教科担任による本質に基づいた専門的な授業、自分たちの生活を自分たちで改善し、より豊かにする生徒会活動、自分で選び最後までやり抜く部活動、そして、多くの卒業生が誇りにしている歌声などの様々な取組がここ北山中学校にはあります。

それぞれの取組は皆さんにとっては、はじめて目にするばかり、失敗しないで進むことなど、ほとんどないといってよいでしょう。むしろ、失敗した方がよいのです。なぜなら、失敗による振り返りから学べることがたくさんあるからです。失敗することを恐れず、果敢に挑戦しましょう。

保護者の皆さん、中学3年間を、お子さんの力を引き出し、可能性をより広げられる時間となるように共に育てましょう。そのため、子供の選択を大切にする。得られた結果だけでなく、取り組みの過程も大切にする。いつでも援助できることを伝え、その準備をする。この親子のコミュニケーションの積み重ねが、失敗のプロセスに学び、困難に立ち向かう心を育てます。

北山中学校職員は、「夢に向かって、自ら学び、自ら考える生徒」を学校教育目標として掲げています。保護者の皆様、地域の皆様とも力を合わせ、目標の具現化に向け、全力で努力する決意です。何卒、学校教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

